

## オオサキワンダーミュージアム 人と大自然の青空博物館

vol.41

おおさき生きものクラブ10周年記念フォーラムを開催しました

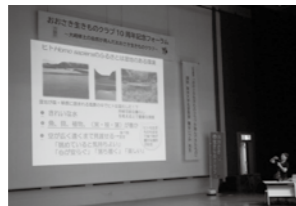
農政企画課世界農業遺産未来戦略室 ☎23-2281

8月5日、大崎生涯学習センター(パレットおおさき)を会場に、「おおさき生きものクラブ10周年記念フォーラム」を開催しました。

おおさき生きものクラブは、平成25年に設立され、世界農業遺産「大崎耕土」の生きものや、自然などと触れ合う機会を提供してきました。

記念フォーラムでは、東京大学名誉教授の鷺谷いづみ氏が、「おおさき生きものクラブが育ててきたもの」をテーマに講演をしたほか、生きものクラブの卒業生をパネリストに迎え、パネルディスカッションを行いました。締めくくりには、ラムサールセンターフェローの中村玲子氏に、「おおさきの若者たちが目指す未来」について、講評をいただきました。

記念フォーラム終了後には、ドジョウの調査などを行い、生物多様性や自然環境の豊かさを感じた1日となりました。



▲鷺谷いづみ氏の講演

## ちおこらむ 地域おこし協力隊コラム

政策課地方創生担当 ☎23-2129

Vol.4

観光交流課のちおこ 陳(チン)です！

観光交流課に所属している台湾台北出身の「ちおこ(地域おこし協力隊)」陳です。現在は大崎市の景色やおいしいグルメなどをフィルムに収め、国内外にSNSを通じて本市の魅力をお届けしています。

最近、神社やお寺、イベントを中心に撮っていますが、ガイドブックに載っていないスポットがたくさん発見できて、改めてこの地域に魅了されてしまいました。

大崎市内で「ここを撮ってほしい!」「これを食べてほしい!」「ぜひ発信してもらいたい!」というスポットがありましたら、教えてください!

また、「台湾人から見た『大崎市の魅力』が知りたい!」というときには、気軽に連絡ください。どうぞよろしく願いいたします。



▲台湾で開催されたイベントへ参加



Instagram

## 大崎市公式SNS発信中です!

市公式 X (旧Twitter)・Facebook・Instagramは、行政情報だけではなく、観光やイベント情報も盛り込み、充実した情報をお届けします。二次元コードから、登録をお願いします。



図書館の情報を発信⇒

X (旧Twitter)



男女共同参画相談室 With おおさきの情報を発信⇩



Facebook



Instagram



秘書広報課広報広聴担当 ☎23-5023

## 今月の表紙

8月3日・4日、おおさき古川まつりが4年ぶりに通常開催されました。開催期間中は天候にも恵まれ、商店街に飾られた色とりどりの吹き流しが訪れた人々を楽しませました。

初日は、幼稚園児が手作りしたみこしを元気いっぱいに担いだ創作みこしパレードや11団体・322人が一体となって踊った「古川おどり」がまつりを盛り上げました。2日目の古川まつり太鼓では、力強い音とリズムが観客を魅了し、活気に満ちていました。

また、地域交流センター(あすも)では、東京都台東区の伝統工芸職人による江戸下町職人展や姉妹・友好都市のうまいものが一堂に集結した「うまいものフェア」の開催、短冊に願いをつづった短冊ロードも設置され、まつりに彩りを加えました。



◀個性豊かな吹き流しが並びました

広報おおさき9月号 2023 No.210

## Main Contents

目次

04 認知症について理解を深めましょう

06 ふるさと納税を活用しています

07 新型コロナウイルスワクチン接種情報

08 CITYTOPICS

09 DiscoverOSAKI

10 OSAKI Culture

11 オオサキプレイガイド

くらしの情報

14 陸羽東線パーク・アンド・ライド実証事業のモニターを募集します ほか

24 子育て支援情報 ほか

26 相談コーナー

27 休日救急当番医 ほか

28 東北中学校体育大会に出場しました

## 天地人

市長コラム

### 「祭り」復活

東北の夏は短い!短い夏を完全燃焼させるのが「祭り」でもあります。

新型コロナウイルス感染症の影響で、中止や縮小していた各地の祭りが今夏、復活の兆しを見せました。

古川の夏の風物詩「おおさき古川まつり」も4年ぶりに通常開催で復活しました。

おおさき古川まつりは、終戦から2年後の昭和22年(1947年)に始まり、今年で75回目を迎えます。大崎地方を代表する夏祭りでもあります。

ひととき、おおさき古川まつりの七夕飾りが海を渡って、ブラジルサンパウロで日伯友好に貢献したこともある歴史と伝統のある祭りです。

今年、前日の花火大会を皮切りに、本番のおおさき古川まつりは、七夕飾り、古川おどり、古川まつり太鼓、姉妹・友好都市(東京都台東区・愛媛県宇和島市・北海道当別町・富山県黒部市・山形県遊佐町・山形県酒

田市・大阪府田尻町)うまいものフェア、江戸下町職人展、ぎっしり並んだ屋台などに、暑さをものともせず、大にぎわい。活気も、熱気も完全復活しました。

市内各地区でも夏祭りや、盆踊り、花火が帰ってきました。

姉妹都市の宇和島市「牛鬼まつり」や、台東区の「隅田川花火大会」も完全復活しました。

日本の祭りは、鎮魂、災い払い、五穀豊穡などを祈念する神事の一面と、地域コミュニティの維持・発展や、景気高揚、まちづくりの役割があります。

この夏の盛り上がり、秋の「全国こけし祭り」「政宗公まつり」「各取獲祭」へとつながり、そのパワーでコロナ完全終息、日常復活、地域経済再生へダッシュしてまいります。

大崎市長 伊藤康志

